

(様式1)

平成17年度 事務事業評価表

記入年月日	平成17年4月22日		記入者		内線	2727
部名	経済部	課名	産業振興課		課長名	高部 博
事務事業名	青年起業家育成事業					
予算上の事務事業名	青年起業家育成事業					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	31120		
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして					
政策名	第1章 立地特性を生かした産業の振興をめざします					
基本施策名	第1節 活力ある産業の振興				事業開始年度	
施策名	第2施策 新たな成長産業の創造				平成12年度	▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等						
3 個別計画の概要			概要			
計画名						
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分 啓発・広報・イベント ▼						
5 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)		
優秀な技術や独創的なアイデアを生かし、新しく事業を起こそうとする青年に対し、起業するために必要な過程や課題克服を体験させるとともに、秀でた提案を奨励することにより、起業家精神の醸成を図る。				20歳代の青年で、市内在住・在勤している人、もしくは神奈川県内や都内の学校に在学している学生		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
日時	平成17年3月10日(木) 13:00～18:30					
場所	青山学院大学相模原キャンパス					
審査員	5名					
コンテスト結果	麻布大学(優秀賞 100万円) 慶応義塾大学(努力賞 20万円) 東京工業大学(努力賞 20万円) 神奈川大学(チャレンジ賞 5万円) 成城大学(チャレンジ賞 5万円)					
6 関連・類似事業や他市の状況						
7 事業費の推移 [単位:千円]						
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業費	3,955	2,330	2,830	7,020	7,020	
一般財源	3,255	1,830	0	3,000	3,000	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	700	500	2,830	4,020	4,020	
人件費の合計	9,300	9,000	9,000	9,000	9,000	
事業コスト合計(a)	13,255	11,330	11,830	16,020	16,020	
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)						
主たる事業名	青年起業家育成事業			対象名称(単位)	経費/応募プラン数	
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業コスト(主たる事業)	13,255	11,330	11,830	16,020	16,020	
対象数	19	44	43	43	43	
単位あたり経費(円)	697,632	257,500	275,116	372,558	372,558	
前年度比		0.37	1.07	1.35	1.00	

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	指標式と指標の説明				
応募者増加率	応募者の増加率によって起業家精神の広がりを見る				
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	19.0	44.0	43.0		
目標	19.0	19.0	44.0	44.0	44.0
目標達成度	1.00	2.32	0.98		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	指標式と指標の説明				
入賞率	予算上の奨励金と決算上の奨励金とを比較することによりプラン内容の向上を見る。				
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	500.0	900.0	2830.0		
目標	4000.0	4000.0	4000.0	0.0	0.0
目標達成度	12.5	22.5	70.8		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
C	<input type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
見直し	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		コンテスト形式では実際の起業へ結びつけるのに困難性がある	
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 コンテスト形式を廃止し、起業のためにより実践に近い指導方法を取り入れた支援をおこなう			14 課題として認識されたこと 実際に起業へ結びつけ、成果を挙げる手法の確立が必要		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
見直し	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		効果的な事業実施方法を検討をする。	
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			